

機関番号：77601

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2007～2010年

課題番号：19570098

研究課題名 (和文) アジア及びオセアニアにおけるホウオウゴケ科蘚類の多様性

研究課題名 (英文) Diversity of Fissidentaceae in Asia and Oceania

研究代表者

岩月 善之助 (IWATSUKI ZENNOSUKE)

財団法人 服部植物研究所・岡崎分室・研究員

研究者番号：80072809

研究成果の概要 (和文)： 財団法人服部植物研究所の研究者がこれまでに日本およびアジア、オセアニアで採集したホウオウゴケ科の標本と、日本及び国外のコケ植物の研究者から研究を依頼された資料を研究した。その結果、国外では、パプアニューギニアの資料から新種3種を含む40種のホウオウゴケを確認し報告した。また、マレー半島からホウオウゴケ属の1新種を見出し、シンガポールの学術誌に報告した。スマレ属の研究者である神山隆之氏が、インドネシアの南スラウエシで採集したホウオウゴケ標本53点を研究し、21種を確認した。このうち10種は、この地域から初めての記録である。日本新産のナガエホウオウゴケ(新称)を静岡県浜松市岩水寺で発見し、報告した。更に服部植物研究所に収蔵されているホウオウゴケを含む蘚類の基準標本のリストを *Hattoria* 第1号に発表した。また、ホウオウゴケ属を含む蘚類の和名のリストを作り、*Hattoria* 第1-2号に発表した。

研究成果の概要(英文)： Specimens of *Fissidens* located in the herbarium of the Hattori Botanical Laboratory and those which were sent from other countries for identification were used in this study. We recognized 40 species of *Fissidens* in the collection made by Dr. Heinar Streimann (Australia) in Papua New Guinea. In this collection, we identified 3 species as new to science. We also studied 53 specimens of *Fissidens* collected by Mr. T. Kamiyama in South Sulawesi (Indonesia). We recognized in this collections, 21 species of *Fissidens* in which 10 species are new additions to the area. *Fissidens benitotanii* was described from Peninsular Malaysia as a new species. A species of *Fissidens*, *F. longisetus* was newly reported from Japan, based on the material collected in Shizuoka-ken. Type specimens of Japanese mosses, including *Fissidens*, located in the herbarium of the Hattori Botanical Laboratory was reported in *Hattoria* nos. 1 & 2.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	500,000	150,000	650,000
2008年度	400,000	120,000	520,000
2009年度	400,000	120,000	520,000
2010年度	400,000	120,000	520,000
年度			
総計	1700,000	510,000	2,210,000

研究分野：植物分類学

科研費の分科・細目：基盤研究 C.

キーワード：蘚苔植物，ホウオウゴケ，多様性，アジア，オセアニア

1. 研究開始当初の背景

蘚類ホウオウゴケ科 (Fissidentaceae) の植物は，葉が2列に並び，葉の基部がアヤメのように二重になって茎を抱くことで，他の蘚類から区別される．世界中で約700種が記録され，蘚類の中で最も多様性に富む群である．岩月はこれまでホウオウゴケ科の蘚類に興味をもち，多くの論文を発表してきた．日本では研究が進んでいるが，東南アジアの各地で，分類学的にかなりの混乱が見られる．

2. 研究の目的

(1) アジア・オセアニア地域のホウオウゴケ属 (Fissidens) の疑問種を明らかにする．アジアの熱帯地域のホウオウゴケ属の種の解明はあまり進んでいない．

(2) 日本産の種の再検討を行い，モノグラフを完成する．

3. 研究の方法

財団法人服部植物研究所の研究者が，これまでに集めた日本およびアジア，オセアニアのホウオウゴケ科の種の標本と，日本および国外のコケ植物の研究者から研究を依頼された標本を研究した．

種の同定には主に顕微鏡による観察を行い，ほとんどすべての種について重要な形質のスケッチや，写真撮影などを行った．

4. 研究成果

(1) 外国産のホウオウゴケ科の研究

①ニュウギネアのホウオウゴケ
オーストラリアの蘚苔植物の研究者 Dr. Heinar Streimann から研究を依頼された同博士採集のパプアニュウギネアのホウオウゴケ科標本約250点の研究を行った．その結果，総計40種のホウオウゴケを確認

した．F. pseudoautoicus, F. streimanii 及び F. pseudojavanicus の3種を新種として発表した (鈴木・岩月, 2011) ．

② 神山隆之氏採集の南スラエシのホウオウゴケ科の研究

神山隆之氏から研究を依頼された Fissidens の標本53点を研究し，21種を確認した．それらのうち10種はインドネシアからはじめて記録された種であった (鈴木・岩月, 2010) ．

③ マレーシアから見つかったホウオウゴケ属の新種

マレーシアの K.T. Yong 氏から研究を委託された Fissidens の標本を詳細に研究した結果，新種であることが判り，Fissidens benitotanii の学名で発表した (Iwatsuki, Z., K.T. Yong & T. Suzuki, 2009) ．

(2). 日本産ホウオウゴケ属の研究

① 日本新産の Fissidens longisetus (ナガエノホウオウゴケ) を静岡県浜松市で発見し報告した (鈴木・岩月, 2008) ．

② ホウオウゴケ属の種を分類するときの重要な形質について論じた．また，属以下の分類 (亜属，節，など) についても論じた (Suzuki, T. & Z. Iwatsuki, 2007) ．

③ 日本産蘚類の和名リスト

ホウオウゴケ科を含む蘚類の和名はこれまでリストにされていない．このため和名には混乱が見られるようである．岩月は日本産蘚類の和名の一覧を作成し，3部に分けて Hattoria に発表した．そのうちの Part 3 は2012年に発表される (岩月, 2010, 2011) ．

④ ホウオウゴケ科の基準標本.

植物の分類学では、それぞれの種が新種として記載されたときに使われた標本は、基準標本として、大切に扱われる。岩月は服部植物研究所に保管されている *Fissidens* を含む蘚類の基準標本のリストを、*Hattoria* No. 1 に発表した (岩月, 2010)。

5. 主な発表論文等
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 8 件)

Suzuki, T. & Z. Iwatsuki, 2007. A new approach to the infrageneric classification of the genus *Fissidens* (Fissidentaceae, Bryopsida). *Hikobia* 15: 67-85 (査読).

鈴木直・岩月善之助, 2008. *Fissidens longisetus* (ナガエノホウオウゴケ, 新称) は日本にも産する. *蘚苔類研究* 9: 255-258 (査読).

Iwatsuki, Z. 2008. Recent developments in studies of the Japanese moss flora. *Bryology in the New Millennium*: 23-30.

Iwatsuki, Z., K. T. Yong & T. Suzuki, 2009. A new species of *Fissidens* from Peninsular Malaysia. *Garden's Bull. Singapore*. 61: 49-53 (査読).

Suzuki, T. & Z. Iwatsuki, 2010. *Fissidens* collections made by Mr. T. Kamiyama in South Sulawesi (Indonesia). *Hattoria* 1: 7-23 (査読).

岩月善之助. 2010. 日本産蘚類の和名リスト (I). *Hattoria* 1: 71-125 (多くのホウオウゴケを含む).

Iwatsuki, Z. 2010. Type specimens of mosses located in the Hattori Botanical Laboratory (NICH). *Hattoria* 1: 31-70. (多くの *Fissidens* を含む).

Suzuki, T. & Z. Iwatsuki, 2011. *Fissidens* (Fissidentaceae, Bryopsida) from Papua New Guinea located in the herbarium of the Australian National Botanical Gardens (CBG). *Hattoria* 2: 1-33. (査読).

〔図書〕（計1件）

Iwatsuki, Z. 2008. Recent developments in studies of the Japanese moss flora. Bryology in the new millennium, 23-30 (Fissidens の記述あり). Institute of Biological Sciences, Univ. of Malaya.

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

岩月善之助 (Iwatsuki Zennosuke)

研究者番号：80072809

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

鈴木 直 (Suzuki Tadashi)

財団法人 服部植物研究所・島田分室・研究員

研究者番号：00536188